

【教育講演会】

10月15日(土) Y M C A学院高等学校ホールにて、「教育を共に考える集い」を開催いたしました。



学校法人大阪 YMCA が運営する中学校卒業後の3つ学び舎（YMCA 学院高等学校、大阪 YMCA 国際専門学校国際高等課程国際学科、大阪 YMCA 国際専門学校高等課程表現・コミュニケーション学科）が、合同で毎年行っている講演会です。

「不登校・ひきこもり・発達障がい ~すべてが豊かになる路を求めて~」をテーマに、講演をして頂きました。講師は、高岡 健さん（岐阜大学医学部准教授・精神科医）です。

【3校合同説明会】

講演に先立って、3校（YMCA 学院高等学校、大阪 YMCA 国際専門学校国際高等課程国際学科、大阪 YMCA 国際専門学校高等課程 表現・コミュニケーション学科）の合同説明会をおこないました。33名の方々が、パワーポイントでの各学校の特徴の説明に聞き入っておられました。



【フリースクールの展示と交わり】

当日会場の後方に「フリースクール資料展示コーナー」を設け、YMCA と関係のあるフリースクール26団体の資料が展示されました。

講演会前には、フリースクール等の方々とYMCA教職員で講師の高岡 健さんと、情報交換と親睦を深めました。

各団体（学校・フリースクール等）が協力し、さまざまな課題を持つ子どもたちの居場所となる働きができればと願っています。

【参加者アンケートより】

- * 高岡先生の実体験を交えた講演で興味深く話を聴くことができました。引きこもりは自分と自分の対話のための大切な時間。引きこもりをマイナスに捉えず、また親として本人より前に出ず後から見守ることの大切さを知りました。
- * 不登校や引きこもりにならないで、自分と自分との間での対話することはできないのですか。逆説的に言われているのは分かりますが引きこもることがすばらしいと言われると少し違和感を感じます。ずっと引きこもることが出来るのは経済的に余裕があればできることであって、自分で生きていかなければいけない人はどうなるのですか。
- * 最初の言葉「これからは積極的に『不登校・引きこもりをしましょう』が印象的でした。発達障害、自閉症スペクトルの基本的なことを分かりやすく教えてくださりありがたかった。
- * 大変面白く、参考になりました。我が家には2人の発達障害児がいます。ときどき学校に行けなくなり休みますが、本人達はリラックスできるように翌日からまた頑張って登校しています。
- * 言葉の定義から基本的な話が多かったので、私としてはもう少し学校教育との関わりを教えてくださいました。
- * とてもよくわかりここに聞きにこれて私はラッキーだと思いました。うまく息子を理解しながらたくさん遊ぶ親になりたいと思っています。自分の引きこもりの経験があるからとてもよくわかりました。
- * 不登校、引きこもりする人には将来がある。いろいろと目からうろこのお話でした。自分と自分の対話が必要。積極的に引きこもらせる事が大切、色々心配していたことが払拭されました。
- * 強迫性障害のこともふれていただきありがたく拝聴しました。希望を持っていきたいと思えます。